

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート簡易版(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	緑の広場設置事業費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 47 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内に散在する空闲地を借地して、市民の憩いの場として開放し、災害時の一時避難場所とするなどの有効活用を図り、良好かつ快適な生活環境の確保を図る。 ※本事業の委託料等は令和元年度から、各市民センターから、公園課に事業を移し、全市的な視点に基づいて実施した。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市緑の広場の確保に関する要綱						
事業実施内容	地域住民の憩いの場として緑の広場を適正に管理するため、維持管理を行った。 緑の広場67カ所(令和2年3月31日現在)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 有限会社 グリーンプロデュース ほか) (委託等内容 : 緑の広場の草刈等 ほか) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 72,567 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	6,386 千円	消耗品費, 印刷製本費, 光熱費, 施設修繕費等
		役務費	12,757 千円	保険料, 手数料
		委託料	14,561 千円	緑の広場草刈等業務委託等
		使用料及び賃借料	38,117 千円	土地賃借料
その他	746 千円	原材料費, 補償金		
財源内訳	R元年度 支出済額 72,567 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	72,567 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	60,286	75,206	53,868	82,897			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	60,312	71,663	57,698	82,286			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	52,595	52,330	49,989	72,567			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,717	19,333	7,709	9,719			
	①職員給与合計(常勤)	7,281	18,438	7,334	9,141			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	436	895	375	578			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-26	3,543	-3,830	611			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-26	3,543	-3,830	611			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	141.81	425,105	175.92	427,501	125.47	429,317	191.42	433,060

成果実績	指標名	—	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績	—	実績	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		支出の大半が義務的な経費や事務経費であるため、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—		—		—		—		—	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	緑の広場は，市民の憩いの場として開放するとともに，市街地における災害時のオープンスペースとしても役割を果たしている。しかし近年，都市公園の整備が進捗しており，都市公園の代替施設としての設置可否の検討に加え，特定団体による限定された利用によって多くの市民が幅広く利用する機会がないことなど，広場運営等についても検討する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	緑の広場設置事業については，都市公園の配置状況を考慮し，防災機能等の代替場所をなくすことなく，近隣住民への影響を確認したうえで，契約期間の満了に合わせ，更新を行わないよう検討する。また，特定の利用に限定されている広場についても，事業形態を見直す検討をしていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	借地契約期限を迎えた緑の広場のうち，周辺に都市公園が整備され，未到達区域が解消されている緑の広場について解除した結果，近隣住民のレクリエーション等の場や災害時の避難場所としての機能を損なわずに事業の見直しが図られた。	
今後の方針	事業の方向性	事業縮小
今後も借地契約期限を迎える緑の広場については，周辺の都市公園の整備状況を鑑みながら，契約更新の可否を検討するとともに現状の利用形態に応じた事業を図ることも検討していきたい。		

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
27	緑の広場の維持管理等に関する支援及び土地の貸借契約に関すること	無	有	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	市民農園運営費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	農業従事者以外の者が自然とふれあい、野菜や花等を栽培することにより農業に対する理解を深めること等を目的に、本市が特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律に基づき市民農園を開設し運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060	人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市市民農園事業運営要綱						
事業実施内容	1 市民農園の草刈、剪定、施設修繕等の維持管理 2 市民農園の更新作業(3年周期) 市民農園20カ所(令和2年3月31日現在)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 32,185 千円	事業費節別内訳		主な事業内容	
		費目	支出済額(千円)		
		賃金	1,479 千円		事業費賃金
		需用費	9,042 千円		消耗品費, 施設修繕費, 印刷製本費
		役務費	5,361 千円		市民農園維持管理手数料
		使用料及び賃借料	16,277 千円		市民農園用地土地賃借料
原材料費	26 千円	維持補修用原材料			
財源内訳	R元年度 支出済額 32,185 千円	事業費節別財源内訳			
		費目	支出済額(千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
その他(利用料収入)	8,093 千円				
一般財源	24,092 千円				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	63,357	35,268	60,684	39,038			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	61,405	40,028	56,930	43,847			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	34,397	25,528	29,948	32,185			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	27,008	14,500	26,982	11,662			
	①職員給与合計(常勤)	25,483	13,829	25,668	10,969			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,525	671	1,314	693			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,952	-4,760	3,754	-4,809			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,952	-4,760	3,754	-4,809			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	149.04	425,105	82.50	427,501	141.35	429,317	90.14	433,060

成果実績	指標名	市民農園利用率	目標	90	単位	90	単位	90	単位	100	単位
				%		%		%		%	
	実績	実績	83.55	単位	88.29	単位	88.80	単位	88.08	単位	
			%		%		%		%		
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1 単位あたりの総費用 A/実績 (円)			758,312.39	399,456.34	683,378.38	443,210.72					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	現在，市内全域にある20カ所の市民農園のうち，北部方面の農園は利用率が低迷している。
(2) (1)解決のための今後の取組	市民農園の運営については，空き区画が多く利用率の低い農園から縮小廃止を検討する。さらに事業全体のあり方についても検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	一部の市民農園を除き，利用者が快適に利用出来るよう適正な維持管理が実施できた。 北部方面の空き区画の多い市民農園については，防草対策に維持管理費を要した。	
今後の方針	事業の方向性	事業縮小
	利用率が低い市民農園については，利用実態を考慮した区画数の縮小や廃止などの検討を行う。さらに事業全体のあり方についても検討していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
29	緑の広場から制度移行した市民農園に関すること	無	有	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公園管理業務費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 48 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園利用者の利便性と安全性を確保しつつ、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に潤いと憩いの空間を提供するため、公園内の樹木剪定や草刈り、施設の点検など定期的な維持管理を実施するもの。 ※本事業の一部は令和元年度から、各市民センターから、公園課に事業を移し、全市民的な視点に基づいて実施した。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	都市公園法, 都市公園法施行令, 都市公園法施行規則, 藤沢市都市公園条例, 藤沢市都市公園条例施行規則					
事業実施内容	1 公園内の定期的な維持管理 2 公園内の遊具及び施設の補修 3 公園内の樹木の剪定及び伐採						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : (公財)藤沢市まちづくり協会・藤沢市緑化事業協同組合グループ) (委託等内容 : 新林公園ほか11公園の管理運営) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 683,967 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	66,752 千円	消耗品費, 施設修繕費, 光熱水費等
		役務費	51,976 千円	公園維持管理作業手数料
		委託料	507,081 千円	指定管理料, 公園維持管理委託, 保守点検委託
		使用料及び賃借料	57,160 千円	公園用地土地賃借料
		その他	998 千円	報償費, 旅費, 原材料費, 負担金補助及び交付金
財源内訳	R元年度 支出済額 683,967 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (公園使用料等)	4,738 千円	
		一般財源	679,229 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	令和元年度
正規職員等	9.80
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	9.80

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
	行政費用 A	741,215	736,187	750,086	1,165,150			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	370,664	370,464	383,875	779,210			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	337,870	337,597	351,112	683,967			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	32,794	32,867	32,763	95,243			
	①職員給与合計(常勤)	30,943	31,345	31,168	89,582			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,851	1,522	1,595	5,661			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	370,551	365,723	366,211	385,940			
	①減価償却費	366,577	366,577	366,577	366,577			
	②退職給与引当金繰入額	3,974	-854	-366	19,363			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1743.60	425.105	1722.07	427.501	1747.16	429.317	2690.50	433.060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		公園の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	開設後40年以上経過している公園が多数あり，施設について耐用年数を超えた中で使用しており，経年劣化等により，破損等が生じ，公園利用者の使用において支障が生じた。
(2) (1)解決のための今後の取組	当該施設の速やかな修繕により，公園利用者に対する支障を最低限度に抑える。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園施設の安全性の確保が図られたほか，修繕等により市民に安全で快適な憩いの空間を提供することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	公園利用者の利便性と安全性の確保を継続しつつ，今後も増加する劣化施設の維持・改修費を抑制するため，公園施設の長寿命化と適正配置によるストックの見直しを検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	公園管理者の事務に関すること	有	有		
8	都市公園の設置等の告示	無	無	1	
9	都市公園の維持管理に関すること	無	有	1	3
14	都市公園の境界確定及び土地境界証明書の交付	無	有	1	1
15	都市公園の管理許可及び使用料等の徴収	無	有	1	
16	都市公園の自費施工工事の事務に関すること	無	有	1	
17	都市公園等の賃貸借契約及び使用貸借契約に関すること	無	有	1	3
18	公園台帳の整備及び管理	有	有	1	
21	指定管理者に対する運営指導	無	有	1	1
31	公金（現金等）の取扱事務	無	有	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公園愛護会育成費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	02	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 57 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	都市公園は地域のレクリエーションやコミュニティ形成の場として日常生活の中で欠くことができない施設となっている。これらの公園のうち街区公園等の日常的な清掃や除草、花壇管理等の公園美化活動を地域住民の協力を得て実施するもの。 ※本事業の公園愛護会交付金は令和元年度から、各市民センターから、公園課に事業を移し、全市的な視点に基づいて実施した。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市公園愛護活動実施要綱, 藤沢市公園愛護会交付金交付要綱, 藤沢市総合公園美化保全活動実施要綱, 藤沢市総合公園美化保全活動団体報償金交付要綱					
事業実施内容	街区公園等の日常的な管理を地域住民の協力を得て行うため、自主的な活動のための支援や交付金の支出、愛護会倉庫の設置などを実施し、各公園愛護会の育成を図るもの。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公園美化推進団体による美化保全活動)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 9,950 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	1,292 千円	消耗品費
		原材料費	188 千円	その他原材料
		備品購入費	211 千円	公園愛護会倉庫設置
		負担金補助及び交付金	8,259 千円	公園愛護会・公園美化推進団体に対する交付金
財源内訳	R元年度 支出済額 9,950 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	9,950 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	13,964	11,205	11,836	20,951
	(1)現金を伴う支出 (千円)	12,635	11,456	11,944	20,640
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,990	1,789	2,308	9,950
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	9,645	9,667	9,636	10,690
	①職員給与合計(常勤)	9,101	9,219	9,167	10,055
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	544	448	469	635
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,329	-251	-108	311
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,329	-251	-108	311
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ()	0	0	0	0
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	32.85	26.21	27.57	48.38

成果実績	指標名	全公園数に対する愛護会設置 公園の割合	目標	70	単位	70	単位	70	単位	80	単位
				%		%		%		%	
	実績	52.63	実績	52.44	単位	51.61	単位	50.96	単位		単位
				%		%		%		%	
数値で表せない効果又は上記指標名の 設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			265,323.96	213,672.77	229,335.40	411,126.37					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	役員・会員の高齢化により，活動規模の縮小や活動団体数の減少が見受けられる。
(2) (1)解決のための今後の取組	公園愛護会制度の広報等を行い，認知度を高めることにより団体数の増加を目指すとともに若い世代の加入を促していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園愛護会に対して活性化を図るための各種支援を実施することにより，活動団体数は減少しているものの，愛護会が設置されている公園については，地域と一体となり美化が図られた。結果，愛護会活動により公園維持管理業務の円滑な運営が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	地域と市民の財産である公園を清掃・美化活動等の愛護会活動を通じて，公園の快適な空間づくりを目指すとともに公園愛護会制度の広報等を行い，活動団体数の増加や活動の活性化を目指し，地域と一体となった公園管理を目指していきたい。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	公園愛護会に関すること	無	有	1	1
25	公園美化推進団体に関すること	無	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公園新設事務費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 48 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園新設事業の円滑な執行に関する事務						
対象	4. その他	都市公園の新設を行う事務事業				433,060 人	
根拠法令等	法律等	都市公園法, 藤沢市都市公園条例					
事業実施内容	公園新設事業を進めるにあたり, 地域住民との協働による整備計画の作成及び関係権利者との交渉などを行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 1,537 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	71 千円	普通旅費
		需用費	1,466 千円	消耗品費, 燃料費, 車両修繕費, 印刷製本費
財源内訳	R元年度 支出済額 1,537 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	1,537 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	8,378	10,263	10,149	11,265
	(1)現金を伴う支出 (千円)	10,453	10,514	10,257	11,256
	事業費(支出済額-②報酬合計)	808	847	621	1,537
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	9,645	9,667	9,636	9,719
	①職員給与合計(常勤)	9,101	9,219	9,167	9,141
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	544	448	469	578
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-2,075	-251	-108	9
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-2,075	-251	-108	9
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	19.71	24.01	23.64	26.01	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		支出の大半が義務的な経費や事務経費であるため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域住民との協働による公園の整備計画作成に取り組むことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	地域住民との協働による公園の計画及び整備を円滑に進めていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	都市公園の事業認可申請に関すること	無	無	1	1
4	都市公園の新設，改良及び修繕に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	近隣・街区公園新設事業費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	003	説明	02	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4341

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 45 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域コミュニティ形成の場や災害時の一時避難場所としての役割と市民に潤いと安らぎを与える身近なオープンスペースを確保するため、近隣・街区公園の整備推進を図る。 市民一人当たりの公園面積10㎡(近隣・街区公園分は2.5㎡)を目標に、都市計画公園の整備及び身近な公園への未到達区域内(概ね半径250m以内に1箇所)の整備を優先的に行う。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	都市計画法, 都市公園法, 藤沢市都市公園条例					
事業実施内容	1 吉野町公園用地内建物補償再算定委託 2 上藤が谷公園現況測量委託 3 折戸公園整備工事 4 吉野町公園整備事業用地取得 5 折戸公園整備事業用地取得 6 上藤が谷公園整備事業用地取得 7 吉野町公園整備事業損失補償						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社 湘南ウイステリア ほか) (委託等内容 : 吉野町公園整備事業用地取得に伴う建物補償の算定 ほか) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 633,758 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	6,587 千円	用地取得に伴う建物補償の算定等
		工事請負費	97,879 千円	折戸公園整備工事
		公有財産購入費	487,745 千円	新設公園整備に伴う用地取得
補償補填及び賠償金	39,361 千円	吉野町公園整備に伴う損失補償		
その他	2,186 千円	役務費, 使用料及び賃借料, 負担金補助及び交付金		
財源内訳	R元年度 支出済額 633,758 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	137,426 千円	
		県支出金		
その他 (地方債)	372,200 千円			
一般財源	124,132 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	令和元年度
正規職員等	5.40
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	5.40

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	119,186	465,307	230,090	692,309			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	115,212	465,849	230,768	686,238			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	82,418	432,015	198,005	633,758			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	32,794	33,834	32,763	52,480			
	①職員給与合計(常勤)	30,943	32,267	31,168	49,361			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,851	1,567	1,595	3,119			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,974	-542	-678	6,071			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,974	-542	-678	6,071			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	280.37	425,105	1088.43	427,501	535.94	429,317	1598.64	433,060

成果実績	指標名	開設済み都市計画公園面積率 (住区基幹公園)	目標	100	単位	100	単位	100	単位	100	単位
				%		%		%		%	
	実績	76.48	単位	76.50	単位	78.72	単位	79.43	単位		
			%	%	%	%					
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,558,394.35	6,082,444.44	2,922,891.26	8,715,963.74					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	長期未着手都市計画公園の整備プログラムの確立に向けた検討を引き続き進めることが必要。
(2) (1)解決のための今後の取組	藤沢市都市計画公園・緑地等の整備状況を考慮し，緑の広場や生産緑地地区等の空地を活用した公園・緑地の整備に向けて検討を開始する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	折戸公園の整備が完了したことから，地域コミュニティ形成の場，災害時の一時避難場所等の役割を担う公園の整備推進が図られた。また，都市計画公園2・2・66吉野町公園の事業用地を取得し，事業完成に向けて推進する事ができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市民の多様なレクリエーション，憩いの場，健康増進の場，防災上の役割や，都市空間において四季を感じられる空間の確保など多様な機能を有した地域コミュニティの場とする近隣・街区公園の整備は必要であることから，用地確保等を推進する。併せて，長期未着手都市計画公園については，見直しを進めるとともに，身近な公園への未到達区域の解消を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	都市公園の事業認可申請に関すること	無	有	1	1
4	都市公園の新設，改良及び修繕に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------